

サプライチェーン全体での脱炭素推進に関する取り組みが、 2025年 CDP「サプライヤー・エンゲージメント評価（SEA）」で「A」評価

株式会社 F U J I（本社：愛知県知立市、代表取締役社長：五十棲 丈二、以下「FUJI」）は、国際的な環境情報開示プラットフォームである CDP[※]が実施する 2025 年「サプライヤー・エンゲージメント評価（Supplier Engagement Assessment : SEA）」において、「A」評価となりました。

【サプライヤー・エンゲージメント評価（SEA）とは】

CDP が実施するサプライヤー・エンゲージメント評価（SEA）は、企業のサプライチェーンにおける気候変動対策の推進状況を評価する指標で、「サプライヤーエンゲージメント」、「Scope 3 排出量」、「リスク管理プロセス」、「ガバナンスと事業戦略」、「目標」の 5 つの観点から評価・ランク付けが行われます。



【FUJI の取り組み】

FUJI は、グループ全体の環境中長期目標としてカーボンニュートラル戦略ロードマップを策定し、「2050 年売上高原単位で CO₂排出量 80%減（2021 年度比）」を目標に掲げています。この目標の達成に向け、Scope3 排出量の開示や、サプライチェーン全体での CO₂排出量の削減に向けたサプライヤーの CO₂排出量可視化・低減活動の支援など、取り組みの強化を進めています。2025 年の評価では、こうした取り組みが「A」評価につながりました。

【今後の展望】

当社は、会社として取り組むべき重点課題（マテリアリティ）の一つとして「みらい：カーボンニュートラル社会への貢献」を掲げており、自社だけでなくサプライチェーン全体での脱炭素への対応に取り組んでいます。今後もサプライヤーの皆様と連携して脱炭素化を推進するとともに、省エネルギー設計など環境に配慮した製品や、ラストワンマイル配送の効率化、リサイクル効率の向上・安定化など、温室効果ガス排出削減に資する製品の開発を進め、環境負荷の低減を通じて企業価値の向上と持続可能な社会の形成に貢献してまいります。

* CDP について

CDP は、世界で唯一の独立した環境情報開示システムを運営するグローバルな非営利団体であり、ビジネス・資本・政策・科学分野のリーダーと提携し、アースポジティブな意思決定を可能にする新しい情報を提供しています。2025 年の調査は、全世界で 22,100 社を超える企業が開示しています。

関連情報

- [FUJI のサステナビリティ 環境\(E\)への取り組み](#)
- [CDP ウェブサイト \(英語\)](#) [\(日本語\)](#)
[2025 サプライヤーエンゲージメント評価](#) ※リーダースボードに FUJI CORPORATION - 6134 JP として掲載
- [FUJI、CDP2024「気候変動」調査にて「B スコア」、 「水セキュリティ」調査にて「B-スコア」を初獲得](#)

会社概要

会社名 : 株式会社 F U J I
代表者 : 代表取締役社長 五十棲 丈二
所在地 : 〒472-8686 愛知県知立市山町茶碓山 19
設 立 : 1959 年 4 月
事業内容 : 電子部品実装ロボットならびに工作機械の開発、製造、販売
資本金 : 5,878 百万円
URL : <https://www.fuji.co.jp/> (公式 HP)